

三心を磨く

学校だより No. 11

令和4年1月12日(火)発行

須坂市立東中学校

文責：嶋田 和美 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

3学期が始まって

県内でも新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の新規感染者が報告され、第6波が来ることが懸念されておりますが、先週46日間の3学期が始まりました。

一年のまとめでもある3学期は、来年度にむけての準備の学期でもあります。この学期をどう過ごすかで、来年度の生活が大きく変わってきます。三年生は、自分の進路実現に向けて、二年生は最上級生になる準備を、そして一年生は先輩になる準備をする学期です。今の自分は精一杯がんばっているか、可能性を精一杯出そうとしているか、まずは、自分を振り返ることから始めてみましょう。

3学期始業式 *校内リモートで行いました

校長先生の話

明けましておめでとうございます。

令和4年が始まりました。2学期終業式で、「思い」をしっかり持ち、それを言葉にして、自立への一步を踏み出してほしいと話しましたが、先ほど、学年を代表して発表してくれた1年2組町田葉さん、2年1組塩野麻央さん、3年1組土屋悠葵さんは、心に期する思いを言葉にし、3学期を拓く第一歩を踏み出してくれました。全校の一人ひとりの皆さんも、きっと心に期するものを抱いて、登校日数46日間の3学期を迎えていることと思います。

さて、私は、この休み中に相田みつをさんの「にんげんだもの」「一生感動一生青春」「雨の日には…」「しあわせはいつも」(文化出版局)この4冊を読みました。実は、2月23日から約1ヶ月間、須坂市内の三つの会場で「相田みつを展」が開催され、それに先駆けて2月16日~18日の3日間、東中学校にも展示作品のうちの1点が展示されることになっているのです。皆さんは相田みつをさんを知っていますか？相田みつをさんは今から三十年程前に六十七歳で亡くなりましたが、生きることの本質や奥深さを、誰にでも分かる易しい言葉で、しかも、この表紙を見るだけで分かると思います。独特の味わいのある文字で表現した方です。相田みつをさんのことを詳しく知らなくても、多分どこかで作品や言葉に出会っているのではないかと思います。私自身は、相田さんの言葉と文字に向き合うと、不思議と自分自身の心の有り様や生き方を問い直したくなり、はっとしたりしっかりしなくてはと思ったりすることが多いのです。

そこで、先ほど、「思いをしっかり持ち、それを言葉にして、自立への一步を踏み出してほしい」「全校の一人ひとりの皆さんも、きっと心に期するものを抱いて、3学期を迎えていることと思う」と話しましたが、これからの一日一日の中で、言葉にした自立への思いや心に期したものに立ち返り、向き合うのにふさわしいと思う相田みつをさんの作品を五つ紹介します。

一つ目は「道」です。

長い人生にはなあ
どんなに避けようとしても
どうしても通らなければ
ならぬ道というものが あるんだな
そんなときはその道を 黙って歩くことだな
愚痴や弱音を吐かないでな

黙って歩くんだよ ただ黙って
涙なんか見せちゃダメだぜ
そしてなあ
そのときなんだよ
人間としての いのちの根が
ふかくなるのは

二つ目

ともかく 具体的に動いてごらん
具体的に動けば 具体的な答が出るから

三つ目

あとじゃできねんだよなあ
いまのことは いましかできぬ

四つ目です。

やれなかった
やらなかった どっちかな

最後は「いのち」です。

アノネ にんげんはね
あすの いのちの 保証された者は 一人も いないんだよ





いかがでしたか？何か感じるころはありましたか？

12月に校長室に相談に来てくれたあなた、そして、学年代表で発表してくれたあなた、今ここにいる一人一人のあなた、自分のいのちの根をふかくしてくださいね。

他にも紹介したい作品はたくさんありますが、ぜひ会場に行ってその目で、心で、作品と出会ってください。

最後に、新型コロナの第6波がついにやってきたようです。受験を目前に控えた3年生のために、自分自身と家族のために、友達や地域の方のために、もう一度危機感を持って感染予防を確実に実行して、充実した3学期を過ごしましょう。おわります。

生徒の決意発表より

私はこの3学期に取り組みたい目標が二つあります。

一つ目は勉強です2学期までは単元テストや期末テストの前、家庭学習で集中力が続かず納得のいく結果が出せないことがありました。またやる気が出ない時にはいつも勉強を諦めてしまうことがあります。

そのためこの3学期は授業中のノートとりや家庭学習での予習復習をしっかりと行なって期末テスト前に詰め込むのではなく日々の積み重ねを大切にしていきたいです。また単元テストでとても良い結果を残したいです。



二つ目は部活です。私は吹奏楽部に所属していてフルートを吹いています。今は1月10日にあるアンサンブルコンテストに向けて各チームで練習をしています。季節の関係もあって、今は夏のコンクールの練習のように長い時間の練習ができていません。さらに自分たちのチームは1年生だけで構成されていて先輩は別のチームで練習しているので分からないことをたくさん聞くこともできません。

そのため自分たちで取り組める練習をできる限り行なっています。チームメイトと協力しコンテストで納得のいく結果を残せるよう頑張っていきたいです。

この3学期が終われば私たちは2年生になります。短い学期ですがこれらの目標に向かって、一生懸命取り組み充実した日々を過ごしながら、1年間の締めくくりをしたいです。 【1年2組 町田 菜】

私は3学期力を入れていきたいことは三つあります。

一つ目は勉強です。私は勉強に苦手意識があります。人の倍やらなければ点数は上がらないと思っているので、毎回やり方を変えながら頑張っています。3年生になると総合テストに変わりテスト範囲が今の何倍も広くなると思うので、今のうちに1年生のところまで戻り振り返りをして目の前のことから取り組んでいきたいです。

二つ目は部活動です。私は女子バスケ部の部長をしています。これからもっと上達していくために毎回の練習を今までよりも大切にしていきたいです。一度決めたことは最後までやり遂げ、もっと自分から声を出していきたいです。またチームとして課題が必要だと思ったことはきちんと伝え、人任せにせず、もっと頭を使ってプレイをしていきたいです。しかし全て同時に行うことは無理だと思うので、一つ達成させていきたいです。



そして、夏の大会では少しでもレベルが上がっているように頑張りたいです。

三つ目は生徒会です。3年生が繋いでくれたバトンを引き継ぎ、これからは繋いでいく番です。しっかり意識を高め、一部の人が頑張るのではなく全員で協力し合っていきたいです。これからは、自分たちで自分から考え実行していかなければなりません。みんなで団結しより良い生徒会になるよう頑張っていきたいです。 【2年1組 塩野 麻央】

中学校3年間を通して学んだことが多くあります。特に3年生の2学期にはたくさんのことを経験しました。そこから得られた反省も多くあり、これから始まる3学期につなげていこうと思います。

東祭ではJRC交流委員として一か月前からチャレンジランキングの準備を進めてきました。コロナウイルスの影響もあり、準備がうまく進められないこともありましたが、委員長を中心に学年を越えて協力し進めることができました。その成果もありチャレンジランキングではコスモスチームとサルビアチームで良い勝負をすることができました。特に、最後の全校リレーでは順位の入れ替わりが激しく最後まで結果がどうなるか分かりませんでした。しかし1年生から3年生までバトンをつなぐことができとても嬉しかったです。これから始まる3学期には学年や学級に関係なく繋がりを大切にしていきたいです。

また、学習面では自分は計画して行動することが苦手です。今まで宿題をやる時間が遅くなってしまったりテスト勉強の時間が確保できなかったりしました。その時、新しい「三心自立」に変わり切り替えるきっかけになりました。3学期では計画を立てて行動したいです。

いよいよ受験が始まります。今あげた反省と課題を元に3学期を過ごし受験に臨みたいと思います。 【3年1組 土屋 悠葵】



令和4年が始まりました。本年もよろしくお願いいたします。

先月実施のGoogleフォームによる「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。結果については、次号にてお伝えいたします。

現在、職員全員で、アンケート結果の分析を行い、来年度にむけた取組や方策を検討しています。引き続き、ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。